

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 6月 8日
住 所 川越市大字牛子708番地1
県内企業等の名称 社会福祉法人誠豊会
代表者役職 氏名 理事長 沢田 誠

社会福祉法人誠豊会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は「あなたも生きる、わたしも生きる。」を理念に掲げ、福祉サービスの提供と地域社会との共助を通じて持続可能な福祉を目指しておりますが、この考えは長期的な視点の上に立つ「持続可能な開発目標(SDGs)」と親和性が高いことから、福祉といった狭義(直接貢献)に留まることなく、社会の一員として未来を見据え社会が抱える諸課題解決への対応に当法人の強みと潜在能力を活かして大局的な視点で多角的に取り組むこと(間接貢献)でSDGs目標達成に寄与できるよう努力して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	設備の更新を順次行い、使用エネルギー量を削減するとともにCO2排出量削減を図る。 <(現状値)2022年度の数値> ①原油換算エネルギー使用量:約234KL/年 ②CO2排出量:約519t-CO2/年	<2030年に向けた指標> ①10%(約24KL)削減 ②10%削減(約52t-CO2)削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①5%(約12KL)削減 ②5%削減(約26t-CO2)削減
社会	生涯学習の場として子供から高齢者まで幅広い年齢層の方々への施設開放を実施する。 <(現状値)2022年度の数値> ①学生の社会体験・実習受入:延べ4名 ②ボランティア活動受入:延べ71名	<2030年に向けた指標> ①延べ30名/年 受入 ②延べ300名/年 受入 <取組開始3年後に向けた指標> ①延べ15名/年 受入 ②延べ150名/年 受入
経済	職員の働き方改善の一環として時間単位有給休暇取得制度を導入するなどして有給休暇取得率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:14.45日/年	<2030年に向けた指標> 20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 18日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。